

高知工業高等専門学校の教員が携わる主な校務内容

高等専門学校（高専）は、その設置目的と教育目標や学生の年齢層（本科 15～20 歳、専攻科 20～22 歳）の幅広さなどから、大学や高等学校とは大きく異なる点があります。高専の教員は、教育、研究、学生の生活指導などの全てに対して学内外の各所と連携しながら積極的に取り組む姿勢が求められます。ここでは、高知高専の教員が行う校務内容についての認識を深めていただくために、その主なものを記します。

なお、着任された初年度から、全ての校務を担って頂くわけではありません。本校教員との協働によって経験を積むことにより、スキルアップを目指していただきます。

（1）授業（講義、実験・実習など）の実施

教員は、本科における講義、実験・実習や卒業研究指導、及び専攻科の講義や実験・実習などを行います。また、それらの科目における課題の作成・採点及び返却指導、レポートの評価、定期試験の問題作成と採点も行い、必要に応じて成績不振学生に対する特別指導を行います。これらは、教員相互に行う授業参観や各種研修会などを通して、教育方法の改善に継続的に取り組むことが求められています。

本校では幅広い知識・技術を持ったハイブリッド型人材を育成するために、1年生・ソーシャルデザイン入門→2年生・ソーシャルデザイン基礎→3年生・地域学→4年生・地域協働演習→5年生・卒業研究へつながる社会実装教育を実施しており、地域協働演習と卒業研究では全教員による取組を行っています。

（2）卒業研究・特別研究指導

卒業研究は、本科における教育の集大成として非常に重要な役割を持ち、また、教員と学生の密接なつながりの中で成り立つ科目で、個々の学生に応じるための教員のサポート力や指導力が要求されます。

特別研究は、専攻科における本科の卒業研究に相応するものであり、1,2年次に研究指導を行います。なお、専攻科生の特別研究を指導するためには、研究分野における外部機関による教員審査があります。専攻科の学生を担当すると、学位（工学士）を取得させるため、研究成果をベースに大学改革支援・学位授与機構へ申請する手続きなども指導します。

（3）学級担任

一学級 40 名程度の学生に対し、学習・生活指導など学生生活全般にわたるきめ細かな指導を行います。毎朝のショートホームルームや教室管理（教室清掃や掲示物など）の指導のほか、文化祭やクラスマッチなどの各種学校行事への指導・助言・引率を行います。また、学生相談室、保健室及び専門カウンセラーなどと連携しながら、学生の悩み・進路などについて学生・保護者に対する個別的な対応を行います。

(4) 学校運営のための各種委員会・会議

本校には、教務委員会、学生生活委員会、寮務委員会など、授業の運営や学生指導などの学校運営をスムーズに実施し、全教員への報告や個別案件を審議、決定するための各種委員会などがあります。学級担任と兼務したり、複数の委員会などに所属することもあります。また、定期的に情報共有するための教員会が行われます。さらに、校長を筆頭に副校長、教務・学生・寮務の3主事及び主事を補佐する役割を担い、学校運営の中核に携わる場合があります。

(5) 研究

高専の教員は、教育面や学校運営への参画のみならず、研究面での業績も求められます。研究に対する意欲的な姿勢と成果が学校全体の教育研究面の活性化を促し、さらには地域社会への貢献につながることを期待されています。具体的には科学研究費補助金への応募・取得や、企業・他教育機関等との共同研究などの検討を積極的に行っていただきます。

(6) クラブ顧問

全ての教員がクラブ顧問としての日常的な学生の課外活動の指導をはじめ、各種コンテストの指導、運動系の場合には高専体育大会（地区大会・全国大会）の運営や高体連などの各種大会及び練習試合への引率などを行います。ただし、各競技等における技術的な能力が求められることは多くなく、あくまで学校としての管理が顧問教員の主な役割です。

(7) 学生寮の宿日直

本校には、学生寮の施設があるため、宿日直業務があります。原則として全教員が交代で学生寮の宿日直を行い、生活指導、巡回・点呼、緊急時の対応などにあたります。

(8) 社会・地域貢献

本校では、共同研究、受託研究、公開講座、出前講座など様々な形で地域連携活動を展開しています。地域社会からも様々な形で本校に対する要望が寄せられます。地域連携活動が学生教育へ及ぼす効果に加え、地域に根ざした高専としての存在価値を高めるためにも、高専教員には積極的に地域社会に対して貢献する姿勢が要求されます。